

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)		-	-	-
		商店街（代表者）	それ以外	・3月には集客力のあるイベントが商店街周辺でいろいろと開催される。3月4日に歴史博物館等がオープン、それに合わせて博覧会も行われる。商店街へも多くの来街者が見込め、かなり明るいマインドになっている。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	来客数の動き	・来客数が3か月前に比べて、少し増えている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・気温低下により防寒アイテムを中心に堅調に推移している。催事場では前半の物産展、後半のバレンタイン商戦とも好調で、食品売上を押し上げた。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・最需要期を迎え、以前ほどの需要ではないものの年間を通してみれば良い方だ。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・県内全体では、前年を上回る販売量を確保できている。
		旅行代理店（営業部長）	単価の動き	・依然インバウンドは好調に推移しており、店頭販売が前年をわずかに上回り、海外企画商品が戻りつつある。
		競輪競馬（マネージャー）	販売量の動き	・設備工事のため13営業日しかなかった3か月前と比べて、1日平均4%増にとどまった。今月はビッグレースも無く、思うほど売上増には至らなかった。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・卒業シーズンを控え、客の動きは今後良くなる。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・卒業式前で来客数が多い。
		設計事務所（所長）	単価の動き	・用途によっては建築単価が少し上昇し始めている。
		商店街（事務局長）	販売量の動き	・週末を中心に人通りは多く、街に活気もあり、人気の店舗も一部あるが、総じて客の財布のヒモは固い。消費者は購買に意欲的とはいえ、景気が上向いている感じはしない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・法人向けの慶事品は好調であったが、卒業祝いや送別用の商品単価が例年より低めで動いている。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・常連客は高齢になって飲酒を控え、新規の客も無く、販売量が減少している。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・小型の店舗を中心に来店客数が前年比で伸び悩んでいる。ドラッグストア等での食品販売の影響も出ている。
		スーパー（財務担当）	単価の動き	・価格を下げたアイテムがよく売れ、全体として買上点数の前年超えが続いている。しかし、単価の下落や客数減で売上の前年割れが続いている。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・比較的天候に恵まれ、各種キャンペーン効果によって来店数が前年比増加したもので、景気が良くなっているとは思えない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・とにかく来客数が少ない。客単価も低い。景気は良くなっているとは思えず、地方はかなり悪い。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・売上は前年をやや下回っているが、前月と同水準になる。気温が低下しすぎると来客数に影響が出る。客単価が前年比10%ほど減少しているが、買上客数が増えたことで売上を維持できている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・2月の新車受注台数は前年並みで推移している。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車発表に伴って販売量が大幅に増加するはずだったが、何れの新型車も専売ではなく併売車種だったため、各販売会社へ受注が分散している。期待したほどの景気上昇にはなっていない。	
	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	販売量の動き	・コートなど重衣料の動きが鈍く、衣料品が厳しい。	
	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・1～2月は宿泊客が少し伸び、3月の予約も同様となっている。女性のひとり旅が増えており、1～2月の売上は前年を上回っている。	

	都市型ホテル (経営者)	単価の動き	・来客数が若干増えているが、消費単価は低い。宿泊部門はそれなりに好調であるが、レストランや宴会部門は地元客の動きが良くない。地方経済はあまり芳しくない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前と比べて変わっていない。給料が上昇したという話もほとんどない。イベント等で人は動くが、節約気味である。
	通信会社(営業部長)	販売量の動き	・販売数は3か月前と同程度である。
	通信会社(企画)	お客様の様子	・前年同月と特に大きな変化がない。
	通信会社(支店長)	来客数の動き	・商戦期に入るが、目立った動きは無い。
	ゴルフ場(従業員)	来客数の動き	・来場者数は前年より悪い。天候は良いものの、予約状況を見ると、まだまだ厳しい状況が続く。
	商店街(代表者)	競争相手の様子	・地方経済が好転する要因は見当たらない。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・予約状況が例年より鈍く、先行きの不透明感を感じる。来客数も減少傾向にあり、団体での利用が減少した。
	コンビニ(店長)	販売量の動き	・売上が増加せず、前年割れが続いている。
	x	タクシー運転手	来客数の動き
企業 動向 関連	パルプ・紙・紙 加工品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・新しい商品群の受注が好調なので、良くなっている。
	*	*	*
(四国)	繊維工業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・2月に新商品を発表して受注が増え、全体では前年並みの売上を確保しているが、小売店の店頭販売は芳しくない。消費者は将来に不安を抱え、不要不急のものは購入しない、無駄なものには投資しない、という風潮がある。良く売れるものには特徴があり、その販売にはネットが適していることなど、消費者の小売店離れがますます進む。
	鉄鋼業(総務部長)	受注量や販売量 の動き	・受注量は依然として低位で推移しており、主力の造船及び産業用機械の新規案件も少ない。
	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・新型発電所をつくる新規事業は許認可に時間がかかり、資金面でもランニングコストを賄う売上に繋がるには大変時間がかかる。他事業でなんとか経営しており、景気は変わらない。
	建設業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・2～3月は公共事業の納期が集中し、売上げが見込める今の時期は好況と言える。しかし、例年と比べて全体量が増加しておらず、人件費も上がっていることから、良くはない。
	建設業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・年度内にどれだけ公共事業を取れるかにかかっている。
	建設業(総務)	取引先の様子	・例年の取引高と同様の推移をしている。事業所によっては設備の統廃合を行い、経営改善に取り組んでいる。
	輸送業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・前年と比べて大きくは変わらない。
	金融業(副支店長)	取引先の様子	・取引先企業においては、業種により若干のバラつきはあるものの総じて売上高、受注量、収益状況は横ばい基調である。
	公認会計士	取引先の様子	・顧客の決算書等をみると、ホテル業界は景気が良いが、ほとんどの企業が前年と変わらない。
	農林水産業(職員)	取引先の様子	・市場取引の卸売価格は年明け以降低迷しており、2月は特に荷動きが悪かった。近年、2月が比較的好調であったことを踏まえると、卸売環境が悪化している。消費者の買い控えや、量販店が売価設定をあまり下げないことが要因である。
	一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量 の動き	・国内需要はおおむね堅調に推移しているが、建設用クレーンは減少傾向にある。海外需要は、全体として減少している。
	電気機械器具製造業(経理)	受注量や販売量 の動き	・販売量が数%程度減少している。市場デマンドの低下ではなく、例年の月別変動の範囲内とみており、悲観的には受け止めていない。
	輸送業(支店長)	受注量や販売量 の動き	・季節波動による受注増は見られるものの、原油減産の影響を受けた軽油価格高騰によるコスト増が経営に悪影響を及ぼしている。

	輸送業（営業）	取引先の様子	・個人消費が鈍化するこの時期に全面改装など店舗リニューアルを図る大型量販店が複数ある一方、コンビニ型の小規模店の出店には勢いがある。一般商流を介さない独自の流通チャンネルを利用しているため、貨物の取扱物量増加にはつながっていない。
	x	-	-
雇用 関連			
(四国)	職業安定所（職員）	それ以外	・1月の有効求人倍率は1.48倍で、10月以降1.40倍台が続いている。
	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・新規求人のうち、正社員の割合がわずかに上昇している。
	学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・2月になっても求人があり、直接相談に見える企業が昨年より多い。
	人材派遣会社（営業）	採用者数の動き	・来年度の組織変更に伴って今月は採用者数など増加傾向にある。人手不足は変わらないが、少し動きが出てきている。
	求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・周辺企業では中途採用募集を活発に出しているが、採用にはつながらず、ほとんどの企業で充足していない。景気は変わっていない。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・高知の企業には活況が感じられない。
	民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・来年度の求人を受け付けているが、2月現在、求人数は昨年とほぼ同数となっている。まだ決めかねている企業が多いように見受けられる。
	-	-	-
	x	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き ・派遣の求人は増加しているが、製造業の求人などが減っている。